

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン

岩手県高体連自転車競技専門部

1 大会運営について（R 4. 9. 1）

- (1) 選手・役員等をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先とする。
- (2) 大会運営にあたっては、開催地自治体及び使用する施設等が示す感染症拡大防止対策方針に従うものとする。
- (3) 生徒の参加同意を保護者から得た上での参加とすること。ただし、保護者・本人が不安を感じている場合、参加を強制するものではないこと。
- (4) 応援・観戦者の入場は、保護者および学校関係者のみ可とする。
- (5) やむを得ず宿泊を要する場合は部員同士及び、他の宿泊客との密接を避けるなど感染防止の配慮をすること。
- (6) 大会途中で中止になった場合の代表決定に係る方法を事前に協議し、参加者に通知する。
- (7) 大会の開催について、国や県からスポーツイベント等の中止の行動制限がかけられた場合は中止とする。

2 感染予防策

(1) 大会前の対応

- ① 選手、保護者、チーム関係者、大会及び競技役員等へは日常生活での感染症対策を徹底させるため、文書で通知する。【別紙1】
- ② 選手は保護者の同意を得て参加することとし、事前に各校様式にて承諾書を所属校へ提出することとする。

(2) 大会当日の対応

① 選手・チーム関係者

会場到着後、検温・体調管理チェックリスト【別紙2】に記入し、各顧問のチェックをうける。（シートは各校にて保管）なお、発熱がある選手、体調不良の選手は不参加とする。

② 大会競技役員

会場到着後、役員受付時に検温・体調チェックを確認する。なお、発熱がある方、体調不良の方は不参加とする。

③ 保護者・学校関係者（応援参加者等）

入場を可とするが、体調管理チェックリスト【別紙2】を記入し、観覧日に事務局に提出する。

- ④ 大会当日、入場口、トイレに消毒液を設置する。また、会場内で感染予防について掲示し、放送にて随時感染予防について伝達する。

(3) 感染予防の基本行動

- ① 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）を回避する。
- ② 身体的距離を確保する

- ③ 手洗い・手指消毒を徹底する
 - ④ マスクの着用（ただし、選手は競技時以外で着用、熱中症や競技特性に応じた対応に留意）を徹底する。
- (4) 感染陽性者及び濃厚接触者等の対応
- ① 感染陽性者について

陽性者は大会参加不可。保健所及び医師から指示された健康観察機関（自宅待機）の解除後は参加可能であるが、咳などの身体症状が残る場合は、大会参加を自粛するなど学校で適切な対応をすること。
 - ② 濃厚接触者について

濃厚接触者については、特定された濃厚接触者の待機期間は最終曝露日（感染者との最終接触等）から5日間経過後、または、感染者との最終接触日後の2日目及び3日目の抗原定性検査キットで陰性を確認後から大会参加可能とする。
 - ③ 参加について

ア 学校が休校措置になっている場合は、チーム及び個人（生徒）の大会参加を見送る。また、学年閉鎖、学級閉鎖になっている場合は当該学年、学級に所属する生徒の大会参加を見送る。

イ チーム内で大会一週間前から前日までに部活動が起因する小規模クラスター（保健所より認定）が発生したチームは、大会参加を見送ること（大会期間中も同様）。

大会期間中に選手・大会関係者に罹患の疑いが出た場合の緊急連絡手順

